

単元	とびばこあそび 10月（8時間）	目標	みんなで仲よくしながら、できる動きで遊んだり、跳び箱・平均台を使った動きを工夫したり、いろいろな動きに挑戦したりして、跳び箱・平均台遊びを楽しむ。		評価規準	(1) 関心・意欲・態度 安全に気を付けながら、きまりを守って仲よく跳び箱遊びをしようとする。	(2) 思考・判断 動きの特徴を見つけたり、動きの工夫を考えたりする。	(3) 運動の技能 跳び箱で支持でまたぎ乗り、またぎ下り、跳び上がり、跳び下りの動きをしたり動きを増やしたりする。	(4) 知識・理解
			評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解		
過程	時間	学 習 活 動				評価項目（おおむね満足）		支 援 等	
つかむ	1	○試しの跳び箱遊びをしたり、基本の動きに挑戦したりする。 ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。（学習1・一斉）				学習1について ・進んで試しの動きに取り組んでいる。 ＜観察・記録(1)＞		学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○安全に気を付けながらきまりを守り、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気付いていけるようにする。	
		○基本の動きを確かめ、前時に習った動きのできばえを楽しむ。（学習2・一斉）		○新しい技に挑戦して、技のできばえを楽しむ。（学習3・一斉）		学習2について ・前時に習った動きについて、動きのポイントを基に、技能を高めている。 ＜観察・記録(3)＞		学習2について ○基本の動きや前時に学習した動きを楽しんでいることを賞賛する。 ○どんな動きができるのか問い掛けたり、積極的にいろいろな動きを楽しんでいる子どもや調子よく動いている子どもを紹介したりし、友達のよい動きに気付かせていく。 ○ステップカードやICT（示範の動き）を使って、技のポイント等を助言していく。	
めあてをもつて追求する	2	基本の動き	①ケンケンパー	踏み越し跳び	ステップ①その場ジャンプ	学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 ＜観察・記録(1)＞	学習3について ○ステップカードやICT（示範の動き）を使って、技のポイント等を助言していく。		
	②タイヤわたり		踏み越し跳び	ステップ②ケンケングー跳び					
	③くま歩き		踏み越し跳び	ステップ③カエル跳び					
	④チョコレイト		踏み越し跳び	ステップ④ボールをカエル跳びで越える					
	等		踏み越し跳び	ステップ④低い台からジャンプ・少し高い台からジャンプ					
3	支持またぎ乗り・またぎ下り	ステップ①アザラシ歩き	学習4について ・進んで、自分が表したい動きについてめあてを決め、自己の能力に合った練習の場で繰り返し練習している。 ＜観察・記録(2)＞	学習4について ○進んで、発表したい技に取り組んでいる子どもを賞賛し、取り組みに自信を持てるようにする。 ○何の技をすればよいか、迷っている子どもには、どんな動きが楽しかったか等を聞き、その子にあった技の取り組みを助言していく。 ○ステップカードを使って、技のポイント等を助言していく。 ○技を達成できた子どもを賞賛する。					
4	支持またぎ乗り・またぎ下り	ステップ②足打ち							
5	支持またぎ乗り・またぎ下り	ステップ③カエル跳び							
6	支持またぎ乗り・またぎ下り	ステップ④ボールをカエル跳びで越える							
7	支持またぎ乗り・またぎ下り	ステップ④低い台からジャンプ							
まとめ	8	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。技の達成が見えた時は、次のステップの技に挑戦する。 友達と2～3人のグループになって、それぞれのよさを見つけて楽しむ。（学習4・グループ）				学習5について ・今まで学習した動きの2～3個を取り入れて、一生懸命に発表している。 ＜観察・記録(1)＞ ・友達同士でよい動きを見付けている。 ＜観察・記録(2)＞		学習5について ○一生懸命に発表に取り組む子どもを賞賛し、その子なりの充実感を持たせるようにする。 ○友達のよい動きを見付けている子どもを賞賛する。	
		基本の動き ①ケンケンパー ②タイヤわたり ③くま歩き ④チョコレイト	踏み越し跳び ①その場ジャンプ ②ケンケングー跳 ③低い台から ④少し高い台から	またぎ乗り・下り ①アザラシ歩き ②足打ち ③カエル跳び ④ボールを使って	跳び乗り・下り ①ウサギ跳び ②ライン越えウサギ跳び ③台を使った場から ④低い場で				

留意事項 ○学習2と学習3を1単位時間の中でサイクル的に行う。 ○準備：跳び箱、踏み切り板、マット、PCなど

単元	跳び箱運動 (器械運動) 10月 7時間	目標	互いに励まし合い、練習を工夫しながら、基本的な切り返し系・回転系の支持跳び越しをできるようにして、跳び箱運動を楽しむ。		評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解
					互いに励まし合ったり、安全に気を付けたりしながら、根気強く跳び箱運動をしようとする。	自己の能力に合っためあてを立て、その達成を目指して練習を工夫したりしている。	自己の能力に合った跳び箱で支持跳び越しをする。		
過程	時間	学 習 活 動			評価項目 (おおむね満足)		支 援 等		
つかむ	1	<p>○試しの跳び箱運動の技をしたり、今できそうな動きをしたりする。 (踏み越し跳び、支持またぎ乗り、支持跳び乗り、馬跳びなど)</p> <p>○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。(学習1・一斉)</p>			○今できる技を確かめ、前時に習った技のできばえを楽しむ。 (学習2・一斉)	○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)	学習1について ・進んで試しの技やできそうな動きに取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 <観察・記録(1)>	学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気をつけ、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気付いていけるようにする。	
めあてをもつて追求する	2	1時間目…前の学年までで学習した技 踏み越し跳び 支持またぎ乗り 支持跳び乗り 馬跳び 等	1時間目…開脚跳び ①跳び箱2台連結の場からまたぎ乗りまたぎ下り ②跳び箱2台連結の場から開脚跳び			学習2について ・前時に習った技について、動きのポイントを基に、技能を高めている。 <観察・記録(3)>	学習2について ○跳び箱運動の大切なポイントについて、腕、上体、脚などの観点ごとに一斉に話することで、気付かなかった動きの大切なポイントに気付くことができる。 ○ステップカードやICT(示範の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。		
	3	2時間目…	2時間目…開脚跳び ③跳び箱2台連結の低い跳び箱の場から開脚跳び ④助走から跳び箱2台連結の低い跳び箱を踏切り ⑤開脚跳びに挑戦						
	4	・動きや技のポイントを基にグループ内で順番にアドバイスするやり方を知る。	3時間目…台上前転 ①ライン前転 ②とんとん前回り			学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 <観察・記録(1)>	学習3について ○進んで新しい技に挑戦して、楽しんでいることを賞賛する。 ○ステップカードやICT(遅れ再生)を使って、技能の高まりや練習の取り組み方等を助言していく。		
	5	4時間目…開脚跳び、台上前転  ・動きや技のポイントを基にグループ内で順番にアドバイス仕合う。	4時間目…台上前転 ③助走を付け、跳び箱を踏み切って高いところ(ステージ)へ前転 ④マットを丸めた場で台上前転 ⑤台上前転に挑戦						
	6	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。技の達成が見えた時は、次のステップの技に挑戦する。(学習4・ペア)  ・同じ技能の段階にいる者同士でペアを組み、動きや技のポイントを基にアドバイス仕合う。	前の学年までの技 ①踏み越し跳び ②支持またぎ乗り ③支持跳び乗り ④馬跳び 等	開脚跳び ①2連結またぎ乗り ②跳び箱1段支持またぎ越し ③2連結の低い跳び箱の場から ④助走から2連結の低い跳び箱を踏み切り開脚跳び ⑤開脚跳びに挑戦	台上前転 ①とんとん前回り ②助走をつけ跳び箱を踏み切って高いところ(ステージ)へ前転 ③マットを丸めた場で ④跳び箱を2台連結した場で ⑤台上前転に挑戦	発展技 ・大きな開脚跳び  ・かかえ込み跳び	発展技 ・大きな台上前転	学習4について ・学習した技のポイントを基に練習をしている。 <観察・記録(2)>  ・今まで学習した技を行い、開脚跳びや台上前転ができてい <観察・記録(3)>  学習5について ・できる技を行い、自分や友だちの技の高まりに気付いている。 <観察・記録(2)>	学習4について ○自分の能力に合った活動を選ぶように、動きの大切なポイントを助言する。 ○自分のめあての達成を目指して、工夫して練習に取り組んでいることを賞賛する。 ○技の達成や伸びが見えた子どもを賞賛する。  学習5について ○自分や友だちの技能の高まりを認めていることを賞賛する。
まめ	7	○発表会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめとする。(学習5・ペア、グループ)							

留意事項 ○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の習得に割り当てる。

○準備：踏み切り板、跳び箱、マット、セーフティーマット、PCなど

単元	跳び箱運動 (器械運動) 10月 6時間	目標	互いに励まし合い、練習を工夫しながら、基本的な切り返し系・回転系の支持跳び越しをできるようにして、跳び箱運動を楽しむ。		評価規準	(1) 関心・意欲・態度 互いに励まし合ったり、安全に気を付けたりしながら、根気強く跳び箱運動をしようとする。	(2) 思考・判断 自己の能力に合っためあてを立て、その達成を目指して練習を工夫したりしている。	(3) 運動の技能 自己の能力に合った跳び箱で支持跳び越しをする。	(4) 知識・理解
過程	時間	学 習 活 動				評価項目 (おおむね満足)		支 援 等	
つかむ	1	○試しの跳び箱運動の技をしたり、今できそうな動きをしたりする。 (踏み越し跳び、支持またぎ乗り、開脚跳び、台上前転など) ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。(学習1・一斉)				学習1について ・進んで試しの技やできそうな動きに取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 ＜観察・記録(1)＞		学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気を付け、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気づいていけるようにする。	
		○前時に習った技のできばえを楽しむ。(学習2・一斉)		○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)					
めあてを もって 追求する	2 3	○技ごとに練習を工夫しながら行う。 1時間目・・・前の学年までで学習した技 踏み越し跳び 支持またぎ乗り 支持跳び乗り 馬跳び 等 ・動きや技のポイントを基にグループ内で順番にアドバイスするやり方を知る。		1時間目・・・開脚跳び ①跳び箱2台連結の場からまたぎ乗りまたぎ下り ②跳び箱2台連結の場から開脚跳び ③跳び箱2台連結の低い跳び箱の場から開脚跳び ④助走から跳び箱2台連結の低い跳び箱を踏切り開脚跳び ⑤開脚跳びに挑戦		学習2について ・前時に学習した技について、技の大切なポイントを基に、技能を高めている。 ＜観察・記録(3)＞		学習2について ○跳び箱運動の大切なポイントについて、腕、上体、脚などの観点ごとに一斉に話すことで、気づかなかった動きの大切なポイントに気づくことができる。 ○ステップカードやICT (示範の動き) を使って、技のポイント等を助言していく。	
		2時間目・・・開脚跳び ・動きや技のポイントを基にグループ内で順番にアドバイス仕合う。		2時間目・・・台上前転 ①とんとん前回り (跳び箱を台に、ステージへ) ②助走を付け、跳び箱を踏み切って高いところ(ステージ)へ前転 ③ロイター版を踏み切って ④マットを丸めた場で台上前転 ⑤台上前転に挑戦		学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 ＜観察・記録(1)＞		学習3について ○進んで新しい技に挑戦して、楽しんでいることを賞賛する。	
まとめ	4 5 6	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。技の達成が見えた時は、次のステップの技に挑戦する。(学習4・ペア) ・同じ技能の段階にいる者同士でペアを組み、動きや技のポイントを基にアドバイス仕合う。				学習4について ・学習した技のポイントを基に練習をしている。 ＜観察・記録(2)＞ ・今まで学習した技を行い、開脚跳びや台上前転ができている。 ＜観察・記録(3)＞		学習4について ○自分の能力に合った活動を選べるように、動きの大切なポイントを助言する。 ○ステップカードやICT (遅れ再生) を使って、技能の高まりや練習の取り組み方等を助言していく。 ○自分のめあての達成を目指して、工夫して練習に取り組んでいることを賞賛する。 ○技の達成や伸びが見えた子どもを賞賛する。	
		前の学年までの技 ①踏み越し跳び ②支持またぎ乗り ③支持跳び乗り ④馬跳び 等	開脚跳び ①2台連結またぎ乗り ②2台連結開脚跳び ③2台連結の低い跳び箱の場から ④助走2台連結の低い跳び箱を踏み切り開脚跳び ⑤開脚跳びに挑戦	台上前転 ①とんとん前回りり ②助走を付け跳び箱を踏み切って高いところ(ステージ)へ前転 ③ロイター版を踏み切って ④マットを丸めた場で ⑤台上前転に挑戦	発展技 ・大きな開脚跳び ・かかえ込み跳び	発展技 ・大きな台上前転	学習5について ・できる技を行い、自分や友だちの技の高まりに気付く。 ＜観察・記録(2)＞		学習5について ○自分や友だちの技能の高まりを認めていることを賞賛する。
留意事項 ○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の習得に割り当てる。 ○準備：踏み切り板、跳び箱、マット、PC、ビデオカメラなど									

単元	跳び箱運動 (器械運動) 10月 8時間	目標	友達と協力し合い、練習を工夫しながら、安定した動作で繰り返し系、回転系の支持跳び越しができるようにして、跳び箱運動を楽しむ。		評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解
					互いに協力して安全に気を付けるとともに、根気強く跳び箱運動をしようとする。	自己の能力にあっためあてを決め、その達成を目指して練習を工夫している。	自己の能力に適した新しい技を身に付けたり、できる技を安定させてできるようにしたりする。		
過程	時間	学 習 活 動			評価項目 (おおむね満足)		支 援 等		
つかむ	1	○試しの跳び箱をしたり、今できる技やできそうな技を確かめたりする。 ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。(学習1・一斉) ○今できる技を確かめ、前時に習った技のできばえを楽しむ。(学習2・一斉) ○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)				学習1について ・進んで試しの跳び箱やできそうな技に取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 ＜観察・記録(1)＞	学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気を付け、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気づいていけるようにする。		
めあてをもつて追求する	2	1時間目…前学年までの復習 開脚跳び 台上前転 等	1時間目…安定した開脚跳び ①低い台からの開脚跳び ②横向きの跳び箱で ③手ばたきしてから着地 ④ねらい着地 ⑤安定した開脚跳びに挑戦			学習2について ・前時に学習した技の大切なポイントを基に、技能を高めている。 ＜観察・記録(3)＞	学習2について ○跳び箱運動の大切なポイントについて、踏み切り、着手、上体、腰、脚、頭などの観点ごとに一斉に話すことで、気づかなかった動きの大切なポイントに気づくことができるようにする。 ○ステップカードやICT(示範の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。		
	3	2時間目…安定した開脚跳び 大きな開脚跳び	2時間目…安定した台上前転 ①ステージ上に前転 ②ステージ上から前転下り ③跳び箱を2台連結した平らな場から ④跳び箱を2台連結し低い場を踏み切って ⑤安定した台上前転に挑戦			学習3について ・学習した技の大切なポイントをおさえながら、自分の能力に合った活動を選び、練習をしている。 ＜観察・記録(2)＞	学習3について ○自分の能力に合った活動を選ぶように、動きの大切なポイントを助言する。 ○自分のめあての達成を目指して、工夫して練習に取り組んでいることを賞賛する。 ○ステップカードやICT(遅れ再生)を使って、技能の高まりや練習の取り組み方等を助言していく。		
	4	3時間目…安定した開脚跳び 大きな開脚跳び 安定した台上前転 大きな台上前転	3時間目…かかえ込み跳び ①うさぎ跳びから跳び箱へ跳び上がり ②うさぎ跳びからマット跳び越し ③かかえ込み跳びで跳び箱と同じ高さに着地 ④横向きの跳び箱で ⑤かかえ込み跳び挑戦						
	5	4時間目…安定した開脚跳び 大きな開脚跳び 安定した台上前転 大きな台上前転 かかえ込み跳び	4時間目…首はね跳び(頭はね跳び) ①ステージ上から大きな前転下り ②マット上で首倒立から首はね ③跳び箱を2台連結した平らな場から ④跳び箱を2台連結した低い場を踏み切って ⑤首はね跳びに挑戦						
	6	前学年までの技 ①またぎ乗り ②馬跳び ③開脚跳び ④台上前転 等	安定した開脚跳び ①低い台から開脚跳 ②横向きの跳び箱で ③手ばたきから着地 ④ねらい着地 ⑤安定した開脚跳び	安定した台上前転 ①ステージ上に前転 ②ステージ上から前転下り ③跳び箱を2台連結した平らな場から ④跳び箱を2台連結し低い場を踏み切 って ⑤安定した台上前転	かかえ込み跳び立 ①うさぎ跳びから跳び箱へ跳び上がり リステージへ跳び上がり ②うさぎ跳びからマット跳び越し ③かかえ込み跳びで跳び箱と同じ高 さに着地 ④横向きの跳び箱で ⑤かかえ込み跳び挑戦	首・頭はね跳び ①ステージ上から大きな前転下り ②マット上で首倒立から首はね ③跳び箱を2台連結した平らな場から ④跳び箱を2台連結した低い場を踏み切 って ⑤首はね跳びに挑戦	学習4について ・技のポイントをおさえながら、できる技を安定させて行っている。 ＜観察・記録(2)＞ ・今まで学習した技ができている。 ＜観察・記録(3)＞	学習4について ○ペアでアドバイス仕ながら、技や動きを高められていることを賞賛する。 ○試技のタイミングや用具の設置を確認するように促し、それぞれの練習の場で安全に練習ができるようにする。	
7						学習5について ・自分や友達の技の向上が分かり、それを伝え合っている。 ＜観察・記録(2)＞	学習5について ○自分のめあての達成を目指して、活動を工夫したり努力してきたことを賞賛し、意欲的に取り組んでいけるようにする。		
まとめ	8	○発表会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめとする。(学習5・ペア、グループ)							

留意事項○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の習得に割り当てる。○準備：踏み切り板、跳び箱、マット、セーフティーマット、ビデオカメラ、PCなど

単元	てつぼうあそび 6月（8時間）	目 標	みんなで仲よくし、できる動きで遊んだり、鉄棒を使った動きを工夫して、振る、回る、跳び上がる、跳び下りる動きに挑戦したりして、鉄棒遊びを楽しむ。				評価規 準	(1) 関心・意欲・態度 安全に気を付けながら、きまりを守って仲よく鉄棒遊びをしようとする。	(2) 思考・判断 動きの特徴を見付けたり、動きの工夫を考えたりする。	(3) 運動の技能 鉄棒を使った振る、回る、跳び上がる、跳び下りるなどの動きを上手にしたり、増やしたりする。	(4) 知識・理解
過程	時間	学 習 活 動					評価項目（おおむね満足）		支 援 等		
つかむ	1	○試しの鉄棒ゲームをしたり、基本の動きに挑戦したりする。 ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。 (学習1)					○基本の動きを確かめ、前時に習った動きのできばえを楽しむ(学習2)	○新しい技に挑戦して、技のできばえを楽しむ。(学習3)	学習1について ・進んで試しの動きに取り組んでいる。 <観察・記録(1)>	学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○安全に気を付けながらきまりを守り、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気付いていけるようにする。	
		学習2について ・前時に習った動きについて、動きのポイント基に動きを高めている。 <観察・記録(3)>	学習2について ○基本の動きや前時に学習した動きを楽しんでいることを賞賛する。 ○どんな動きができるのか問いかけたり、積極的にいろいろな動きを楽しんでいる子どもや調子よく動いている子どもを紹介したりして、友達のよい動きに気付かせていく。								
めあてをもつて追求する	2	基 本 的 な 動 き	①ぶらさがり ②とびあがりおり ③ブタのまるやき ④ぶらさがりふり等	ぶらさがりあそび ステップ①空中足たたき（1・3・5・10回） ステップ②ダンゴムシ（5・10・15秒） ステップ③ふとんほしで手ばたき（1・5・10回）	とびあがりあそび ステップ①とびあがり（棒の位置：腰・胸・肩） ステップ②ツバメ（3・5・10秒・手放し） ステップ③ツバメから後方とびおり	逆さあそび ステップ①ブタのまるやき（5・10秒・ジャンケン） ステップ②片膝掛けぶらさがり ステップ③コウモリ（手支持から足ぬき回りおり）	かいてんあそび ステップ①ふとんほしふり（3・5・10回） ステップ②前回り下り ステップ③足ぬきまわり（片足ずつ・両足同時・前後）	学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 <観察・記録(1)>	学習3について ○進んで新しい技に挑戦して、楽しんでいることを賞賛する。 ○ステップカードやICT（示範の動き）を使って、技のポイント等を助言していく。		
	3	ぶらさがりあそび									
	4	ぶらさがりあそび とびあがりあそび									
	5	ぶらさがりあそび とびあがりあそび 逆さあそび									
	6	7	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。技の達成が見えた時は、ステップアップの技に挑戦する。 友達と2～3人のグループになって、それぞれのよさを見つけて楽しむ。(学習4)							学習4について ・進んで、自分が表したい動きについてめあてを決め、自己の能力に合った練習の場で繰り返し練習している。 <観察・記録(2)> ・今まで学習した動きの2～3個を取り入れた発表の技ができる。 <観察・記録(3)>	学習4について ○進んで、発表したい技に取り組んでいる子どもを賞賛し、取り組みに自信を持てるようにする。 ○何の技をすればよいか迷っている子どもには、どんな動きが楽しかったか等を聞き、その子にあった技の取り組みを助言していく。 ○ステップカードを使って、技のポイント等を助言していく。 ○技が達成できた子どもを賞賛する。
まとめ	8	基本の動き ①ぶらさがり ②とびあがりおり ③ブタのまるやき ④ぶらさがりふり	ぶらさがりあそび ①空中足たたき ②ダンゴムシ ③かたひざかけふり	とびあがりあそび ①とびあがりおり ②サイクリング ③ツバメ	逆さあそび ①ブタのまるやき ②ふとんほし ③コウモリ	振り・かいてんあそび ①ふとんほしふり ②前回り下り ③足ぬきまわり	学習5について ・進んで、自分が表したい動きについてめあてを決め、自己の能力に合った練習の場で繰り返し練習している。 <観察・記録(2)> ・今まで学習した動きの2～3個を取り入れて一生懸命に発表している。 <観察・記録(1)> ・友達同士でよい動きを見付けている。 <観察・記録(2)>	学習5について ○一生懸命に発表に取り組む子どもを賞賛し、その子なりの充実感を持たせるようにする。 ○友達のよい動きを見付けている子どもを賞賛する。			

留意事項 〇活動1と活動2を1単位時間の中でサイクル的に行う。 〇準備：鉄棒、マット、跳び箱、ステップカード、パソコン など

単元	鉄棒運動 (器械運動) 6月 7時間	目標	互いに励まし合い、練習を工夫しながら、上がり技、支持回転技、下り技をできるようにして、鉄棒運動を楽しむ。				評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解	
							互いに励まし合ったり、安全に気を付けたりしながら、根気強く鉄棒運動をしようとする。	自己の能力に合ったためあてを立て、その達成を目指して練習を工夫したりする。	自己の能力に適した上り技、支持回転技、下り技をする。			
過程	時間	学 習 活 動				評価項目 (おおむね満足)		支 援 等				
つかむ	1	○試しの鉄棒技をして、今できる動きやできそうな技を確かめる。 ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。(学習1) ○今できる技を確かめ、前時に習った技のできばえを楽しむ。(学習2)				○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3)		学習1について ・進んで試しの鉄棒技やできそうな動きに取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 <観察・記録(1)>	学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気を付け、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気付かせていけるようにする。			
めあてをもつて追求する	2	○技ごとに練習を工夫しながら行う。 1時間目…ぶら下がり、跳び上がりなど				1時間目…前回り下り ①ぶら下がり振り下り ②ダンゴムシ ③ゆっくりゆっくり前回り ④足の位置チェック ⑤前回り下り		学習2について ・鉄棒運動の動きの大切なポイントをおさえながら、段階練習を行い、技能を高めている。 <観察・記録(3)>  学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 <観察・記録(1)>  学習4について ・鉄棒運動の動きの大切なポイントをおさえながら、自分の能力に合った活動を選び、練習をして、技能を高めている。 <観察・記録(2)>  ・今まで学習した動きの2～3個を取り入れて発表の技を行い、手で支持しながらの回転や保持ができています。 <観察・記録(3)>	学習2について ○鉄棒運動の大切なポイントについて、腕、上体、脚などの観点ごとに一斉に話しすることで、気付かなかった動きの大切なポイントに気付くことができる。 ○ステップカードやICT(示範の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。			
	3	2時間目…前回り下り (下りたときの足の位置が、鉄棒より手前にきているかチェック。)				2時間目…転向前下り ①跳び箱を使って越す練習 ②平均台など低い場で ③台を使っての転向前下り (踏み台を使って・踏み台なし) ④補助してもらって ⑤転向前下りに挑戦				学習3について ○進んで新しい技に挑戦して、楽しんでいることを賞賛する。		
	4	3時間目…前回り下り 転向前下り				3時間目…かかえ込み回り ①連続での速い前回り(10秒間で：2～5回) ②だるま振り(3～10回) ③だるま振りから前回り下り ④補助してもらって ⑤かかえ込み回り					学習4について ○自分の能力に合った活動を選べるように、動きの大切なポイントを助言する。 ○ステップカードやICT(遅れ再生で自分の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。 ○自分のめあての達成を目指して、工夫して練習に取り組んでいることを賞賛する。 ○技の達成や伸びが見えた子どもを賞賛する。	
		4時間目…前回り下り 転向前下り かかえ込み回り				4時間目…補助逆上がり ①ジャングルジム ②クツ飛ばし ③柔道帯を使っての逆上がり ④補助してもらって ⑤補助逆上がり(傾斜版を使っての逆上がり)						
6	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。技の達成が見えた時は、スモールステップ2の技に挑戦する。(学習4)				前回り下り ①ぶら下がり振り下り ②ダンゴムシ ③ゆっくりゆっくり前回り ④足の位置チェック ⑤前回り下り		転向前下り ①跳び箱越し ②平均台など低い場で ③台を使って ④補助してもらって ⑤転向前下り	かかえ込み回り ①連続での速い前回り ②だるま振り ③だるま振りから前回り ④補助してもらって ⑤かかえ込み回り	補助逆上がり ①ジャングルジム ②クツ飛ばし ③柔道帯を使って ④補助してもらって ⑤補助逆上がり			
まとめ	7	○発表会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめとする。(学習5)						学習5について 自分や友達の技の向上が分かり、それを伝え合っている。 <観察・記録(2)>	学習5について ○自分のめあての達成を目指して、練習を工夫したり、努力してきたことを賞賛し、意欲的に発表できるようにする。 ○互いの技の向上を認められるように、見合う観点を示すようにする。			

留意事項 ○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の練習に割り当てる。 ○準備：鉄棒、踏み切り板、跳び箱の頭、マット、柔道帯など

単元	鉄棒運動 (器械運動) 6月 7時間	目標	互いに励まし合い、練習を工夫しながら、 上がり技、支持回転技、下り技をできるようにして、 鉄棒運動を楽しむ。		評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解	
					互いに励まし合ったり、 安全に気をつけたりしながら、 根気強く鉄棒運動をしようとする。	自己の能力に合ったため あてを決め、その達成を 目指して活動を工夫する。	自己の能力に適した上 がり技、支持回転技、下り 技をする。			
過程	時間	学 習 活 動				評価項目 (おおむね満足)		支 援 等		
つかむ	1	○試しの鉄棒運動の技をして、今できそうな動きを確かめる。 (前回り下り、かかえ込み回り、転向前下り、補助逆上がりなど) ○自分のできばえや感想を話し合い、学習のめあてをつかむ。(学習1・一斉)  ○前時に習った技のできばえを楽しむ。(学習2・一斉) <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)</td> </tr> </table>				○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)	学習1について ・進んで試しの鉄棒技やできそうな動きに取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 <観察・記録(1)>		学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたりと、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気をつけ、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気づいていけるようにする。	
○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3・グループ)										
めあてをもつて追求する	2	○技ごとに練習を工夫しながら行う。 1時間目…3年生で学習した技 前回り下り 補助逆上がり かかえこみ回り 等		膝掛け上がり ①足ぬき回り ②ぶらさがり膝掛け振り ③地面や台を蹴って ④補助してもらって ⑤膝掛け上がりに挑戦		学習2について ・鉄棒運動の動きの大切なポイントを基に、技能を高めている。 <観察・記録(3)>		学習2について ○鉄棒運動の大切なポイントについて、腕、上体、脚などの観点ごとに一斉に話しすることで、気づけなかった動きの大切なポイントに気づくことができる。		
	3	2時間目…前回り下り 補助逆上がり 膝掛け上がり		後方膝掛け回転 ①半回転から足抜き ②連続膝掛け上がり ③柔道帯を使って ④補助してもらって ⑤後方膝掛け回転に挑戦		学習3について ・新しい技に挑戦して、一生懸命に練習に取り組んでいる。 <観察・記録(1)>		学習3について ○進んで新しい技に挑戦して、楽しんでいることを賞賛する。 ○ステップカードやICT(示範の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。		
	4	3時間目…前回り下り 補助逆上がり 膝掛け上がり 後方膝掛け回転		両膝掛け倒立下り ①壁倒立(ジャングルジムを使って) ②コウモリから片手放し(地面に数字を書く) ③マットを敷いた場で ④補助してもらって ⑤両膝掛け回転に挑戦		学習4について ・自分のやりたい技のポイントをステップカードを活用しながら見付け、課題解決に向けた練習に取り組んでいる。 <観察・記録(2)>		学習4について ○自分の能力に合った活動を選ぶように、ステップカードやICT(遅れ再生)を使って、技のポイント等を助言していく。 ○自分のめあての達成を目指して、工夫して練習に取り組んでいることを賞賛する。 ○技の達成や伸びが見えた子どもを賞賛する。		
	5 6	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにし、技の達成が見えた時は、スモールステップ2の技に挑戦する。(学習4・ペア)	補助逆上がり ①ジャングルジム ②クツ飛ばし ③傾斜版を使って ④ロープを使って ⑤補助してもらって	膝掛け上がり ①足ぬき回り ②ぶらさがり膝掛け振り ③地面や台を蹴って ④補助してもらって ⑤膝掛け上がりに挑戦	後方膝掛け回転 ①半回転から足抜き ②連続膝掛け上がり ③柔道帯を使って ④補助してもらって ⑤後方膝掛け回転に挑戦	両膝掛け倒立下り ①壁倒立(ジャングルジムを使って) ②コウモリから手放し ③マットを敷いた場で ④補助してもらって ⑤両膝掛け倒立下りに挑戦	学習5について ・学習の前後での自分や友達の動きの高まりに気付いて、それを伝え合っている。 <観察・記録(2)>		学習5について ○自分のめあての達成を目指して、練習を工夫したり、努力してきたことを賞賛し、意欲的に発表できるようにする。 ○互いの技の向上を認められるように、見合う観点を示すようにする。	
まとめ	7	○発表会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめとする。(学習5・ペア、一斉)				学習5について ・学習の前後での自分や友達の動きの高まりに気付いて、それを伝え合っている。 <観察・記録(2)>		学習5について ○自分のめあての達成を目指して、練習を工夫したり、努力してきたことを賞賛し、意欲的に発表できるようにする。 ○互いの技の向上を認められるように、見合う観点を示すようにする。		

留意事項 ○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の練習に割り当てる。

○準備：鉄棒、踏み切り板、跳び箱、マット、柔道帯など

単元	鉄棒運動 (器械運動) 6月 8時間	目標	友達と協力し合い、練習を工夫しながら、新しい技ができたり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむことができる。					評価規準	(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 運動の技能	(4) 知識・理解
								互いに協力して安全に気を付け、根気強く鉄棒運動をしようとする。	自己の能力にあつためあてを決め、その達成を目指して練習を工夫している。	自己の能力に適した新しい技を身に付けたり、できる技を安定させてできるようにしたりする。	/	
過程	時間	学 習 活 動					評価項目 (おおむね満足)		支 援 等			
つかむ	1	○試しの鉄棒運動の技をして、今できそうな動きを確かめる。							学習1について ・進んで試しの運動やできそうな動きに取り組んだり、感じたことを記述し、発言したりしている。 <観察・記録(1)>	学習1について ○進んで準備や後片付けに取り組んでいたり、感想を発表したりしていることを賞賛する。 ○励まし合いながら安全に気を付け、一生懸命に取り組んでいる子どもを紹介し、自己の最善を尽くすことの大切さに気づいていけるようにする。		
		○今できる技を確かめ、前時に習った技のできばえを楽しむ。(学習2)		○新しい技に挑戦して技のできばえを楽しむ。(学習3)								
めあてをもつて追求する	2	○技ごとに練習を工夫しながら行う。 1時間目…前学年までの復習 膝掛け振り上がり 後方膝掛け回転 補助逆上がり 両膝掛け倒立下り 等					1時間目…逆上がり ①登り棒を使って ②2人組で補助し合って ③柔道帯などの補助具を使って ④跳び箱や踏み切り板などを蹴って ⑤逆上がりに挑戦		学習2について ・前時に学習した技について、技のポイントを基に技能を高めている。 <観察・記録(3)>  学習3について ・鉄棒運動の動きの大切なポイントをおさえながら、自分の能力に合った活動を選び、練習をしている。 <観察・記録(2)>	学習2について ○鉄棒運動の大切なポイントについて、腕、上体、脚などの観点ごとに一斉に話すことで、気づかなかった動きの大切なポイントに気づくことができるようにする。 ○ステップカードやICT(示範の動き)を使って、技のポイント等を助言していく。		
	3	2時間目…逆上がり					2時間目…後方支持回転 ①前面支持から脚を後方に連続で振り上げる ②連続で逆上がり(5秒間に3回を目標に) ③後方かかえ込み回り ④柔道帯などで腰を固定して ⑤後方支持回転に挑戦					
	4	3時間目…膝掛け上がり 逆上がり 前方支持回転					3時間目…前方支持回転 ①連続で前回り下り(5秒間に3回を目標に) ②かかえ込み回り ③柔道帯などで腰を固定して ④2～3歩の助走から跳び上がって ⑤前方支持回転に挑戦					
	5	4時間目…膝掛け上がり 逆上がり 前方支持回転 後方支持回転					4時間目…片足踏み越し下り 両膝掛け振動下り ①跳び箱で踏み越し下り ①両膝掛け倒立下り ②跳び箱を踏み台にして3段 ②こうもり振り ③跳び箱を踏み台にして2段 ③手→足の順で着地 ④補助してもらって ④手足同時に着地 ⑤片足踏み越し下りに挑戦 ⑤両膝掛け振動下り					
	○それぞれの技で自分に合ったスモールステップをめあてにする。 技の達成が見えた時は、技を安定させたり、スモールステップ2の技に挑戦したりする。(学習4)											
まとめ	8	○発表会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめとする。(学習5)							学習4について ・技のポイント基にアドバイスし合っている。 <観察・記録(2)>  ・できる技を安定させて行っている。 <観察・記録(3)>  学習5について ・自分や友達の技の向上が分かり、それを伝え合っている。 <観察・記録(2)>	学習4について ○ペアでアドバイス仕ながら、技や動きを高められていることを賞賛する。 ○試技のタイミングや用具の設置を確認するように促し、それぞれの場で安全に練習ができるようにする。 ○ステップカードやICT(遅れ再生)を使って、技のポイント等を助言していく。		

留意事項 ○授業を前半と後半に区切り、前半は前の時間の復習に、後半は新しい技の練習に割り当てる。

○準備：柔道帯、跳び箱の頭、踏み切り板、マットなど